

1/26 早稿

まん延防止拡大決定

18道府県追加 来月20日まで

政府は「十五日、新型コロナウイルス感染症対策本部会合を持ち回りで開き、コロナ対応の改定特別措置法に基づくまん延防止等重点措置を二月二十日まで延長する。オミクロン株の感染急拡大が各地で続き、対象地域も新たに十八道府県に追加適用すると決定した。期間は二月二十一日から三月二十日まで。九日から適用された大。国内で「十五日報告された新規感染者は過去最多の大。六万三千六百十人と初めて六万人を超えた。

内閣官房の集計による

と二十四日時点の病床使

用率は群馬、石川、岐阜、

大阪、広島、山口、沖縄の

七府県で50%以上となっ

た。重症者の病床使用率

は東京が30%、京都が25%

%、沖縄は68%に上り、医

1月27日～2月20日	道森形島城木川野岡都阪原根山間賀分島
2月20日	島口 縄
	馬玉葉京川潟島知重川崎本崎
	群塙千東神新岐愛三島長熊富
	北青山福茨柳石長静京大兵島福佐大鹿

度の私権制限を伴つもの

で、慎重な検討が必要だ」と述べた。若年層の感染が

増える中、小中高校の全国

一斉での臨時休校も否定し

た。

政府は二十四日、四十歳

未満などで重症化リスクが

低い感染者に向け、医療機

関を受診しなくとも自宅療

養の開始を認める方針を打

ち出した。自身で検査して

結果を行政側に連絡する。

感覚拡大地域では、品薄に

なっている検査キットの確

保や、急増する自家療養者

の症状悪化を迅速に把握

し、入院などがである体制

の整備が課題となりそう

だ。

対策本部は先立ち、専門

家のによる基本的対処方針

分科会で政府案が了承され

た。新たな対処方針には、

オミクロン株の感染力を踏

まえた対策として不織布マ

スクの推奨が盛り込まれ

た。これまで種類を明示

していなかった。会合後、

分科会の尾身茂会長はウレ

タン製、布製を着けた人は

感染しやすいとして「不織

布マスクをしっかりと着用し

てほしい」と訴えた。

分科会での了承後、山際

大志郎経済再生担当相が衆

院議院の議院運営委員会で

政府方針を報告した。新た

に適用される十八道府県は

北海道、青森、山形、

島、茨城、栃木、石川、

野、静岡、京都、大阪、

佐、兵、長、福、

大分、鹿児島。